科目名	総合演習					開講 キャンパス	神園
担当者	赤星 まゆみ						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修
授業の概要 及びねらい	本演習は、「持続可能性」概念を鍵に人類共通の緊急課題である環境や人権、開発、平和などの問題をグローバルな視点から学び、教育・保育の課題と結びつけて考えることを目的とする。とりわけ一人ひとりが地球市民として「安全・安心で持続可能な未来」のために積極的に行動する姿勢を探究することをめざし、参加・体験型の学習を受講生自身が構想・設計・実践することを試みたい。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞やテレビなどのメディアを通して、現代社会の地球規模で進行する様々な問題に関心を持ち、その内容を人に伝えることができる。 2. また、これらの問題を解決する方法に関心を持ち、そのための情報を収集することができる。 3. その際、多様な情報資源にアクセスし、活用することができる。 4. 「持続可能性」という概念を理解し、説明することができる。 5. さらに、これらの諸問題について「持続可能性」の概念を鍵とする学習のあり方について考え、その実践方法を具体的に構想できる。 6. 身近な問題をグローバルな視点で見直し、自分の考えを深めることができる。 7. 現代社会の地球規模の問題、身近な問題のいずれにおいても、「持続可能性」という視点から問題を発見することができる。 8. 問題解決の方法に関心を持ち、具体的に考えることができる。 9. 問題解決の考え方と技法に習熟する。 10. 体験的な学習の学習方法に関心を持ち、その学習方法に関する用語を理解する。 11. 体験的な学習の方法を用いた学習活動を具体的に計画できる。 12. 調査したことをわかりやすくまとめて、発表することができる。 13. 他人の意見や発表を聞く、建設的な討論を行うといったコミュニケーション技術を高める。 						
学習方法	演習。文献講読・文献等資料調査を中心に、発表（口頭・ポスター・PPTなど）・討議、レポート作成、その他の形式の学習成果の作成等を行う。グループワークを基本とする。						
テキスト及 び参考書等	資料を配布する。参考書等は、授業時に指示する。テキストは使用しない。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	○	○				20	
宿題・授業外レポート	◎	◎	○	○		40	
授業態度			○				
受講者の発表	○	○	◎	◎		30	
授業への参加度	○	○	○	○		10	
その他	授業への出席と発表、発言、課題提出などの授業への積極的参加を求める。また、他者との協力を重視する。						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	オリエンテーション（授業の目的、内容、方法）一テーマを決める						
第2週	グローバル化と人類共通の緊急課題とは						
第3週	「持続可能な社会」という考え方、「国連持続可能な開発のための教育（ESD）」について						
第4週	「持続可能な社会」の視点の検討：貧困、人口問題、文化の多様性、文化遺産、平等、平和、保健衛生、災害など						
第5週	「持続可能な社会」を考える学習の体験：貧困サイクルの学習事例						
第6週	体験学習の理論と方法について						
第7週	体験学習の多種多様な技法と実践事例の検討						
第8週	グループワーク①：問題発見						
第9週	グループワーク②：資料収集・検討・まとめ						
第10週	グループ発表：「持続可能な社会」の課題						
第11週	グループワーク③：教育課題としてのアプローチを検討する						
第12週	グループワーク④：学習方法を企画する						
第13週	全体会：学習方法の提案と実践①（前半グループ）						
第14週	全体会：学習方法の提案と実践②（後半グループ）						
第15週	まとめ、ふり返し（相互評価）						
第16週							
備考	授業そのものを受講生とともに創るという考え方を基本にする。したがって、授業内容・方法・順序等については、受講生の興味関心に応じて、検討のうえ、修正する。また、事前事後の学習課題の指示を含む詳細な授業計画は、授業開始時に配付する。						